

流域治水の取組み状況について

1 取組み概要

気候変動の影響による豪雨災害の激甚化・頻発化

県内においても毎年のように被害が発生

- 平成30年8月豪雨
- 令和元年東日本台風
- 令和2年7月豪雨
- 令和4年8月大雨



- 国・県・市町村等で構成する「流域治水協議会」を設立し、水系毎に「流域治水プロジェクト」を策定
- 流域のあらゆる関係者が協働し、ハード・ソフト一体となって、流域全体で水害を軽減させる「流域治水」を計画的に推進

「流域治水」取組みの3つの柱

取組みの柱	(1) 氾濫をできるだけ防ぐ・減らす (主にハード対策)	(2) 被害対象を減少させる (主にソフト対策)	(3) 被害の軽減、早期復旧・復興 (主にソフト対策)
対策内容	(河川区域) <ul style="list-style-type: none"> ・ 河川整備 ・ 流下能力向上・持続化対策 ・ 遊水地改良 等 (集水域) <ul style="list-style-type: none"> ・ 利水ダムにおける事前放流 ・ 森林整備・治山対策 ・ 水田貯留 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成および居住誘導 ・ 土地利用規制・誘導 ・ 家屋移転、かさ上げ補助制度創設 ・ 雪対策との連携(高床住宅) 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水害リスク情報空白域の解消 ・ 雨量・河川水位情報の発信 ・ まるごとまちごとハザードマップ ・ 要配慮者利用施設の避難計画作成 ・ メディアとの連携による洪水情報の提供 ・ 広域連携による避難体制強化 ・ マイ・タイムラインの普及促進 等

2 取組み状況

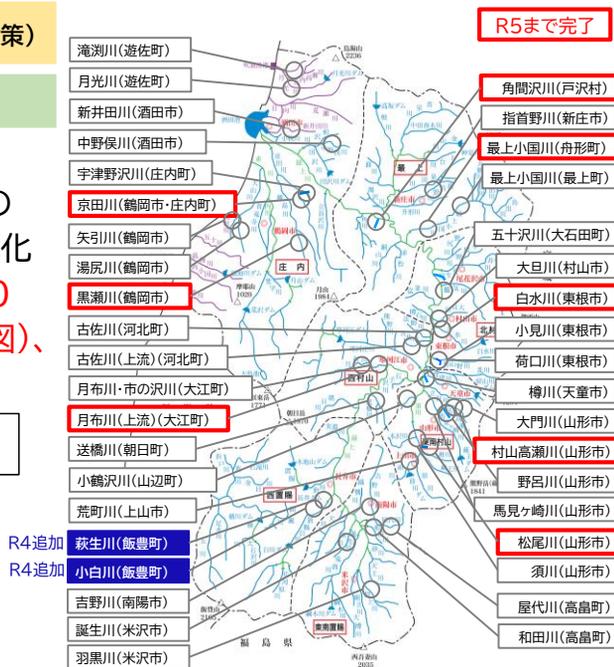
取組みの柱(1)「氾濫をできるだけ防ぐ・減らす」(ハード対策)

① 県の河川整備の状況

- 令和2年7月豪雨と同規模の洪水等に対し浸水被害の解消を図ることを目標として、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策予算」等を活用し、概ね10年間(令和2年度～11年度)で35河川37か所(右図)、約500億円規模の河川整備を集中的に実施

⇒ 令和5年度までに8か所完了見込み

- 令和4年8月大雨により大規模な被害が生じた小白川・萩生川において新たに「改良復旧」を実施



❖ 村山地域

おおだんがわ

大旦川 (村山市)

- 平成9年、10年、14年、令和2年と度々浸水被害が発生
- 国土強靱化予算を活用し、調節池及び河川整備を加速化
- 令和5年6月22日に調節池を一部運用開始予定



ちようせつち

■調節池の効果

- 令和2年7月豪雨と同規模の大雨に対し
 - ① 家屋浸水被害を解消
 - ② 東北中央自動車道村山ICのアクセス道への浸水を解消し、交通途絶を回避
- 最上川増水時に行われる「大旦川水門」の閉鎖回数が減少し、内水被害を軽減

まみがさきがわ

馬見ヶ崎川 (山形市)

- 沿川に住宅地が多く、浸水被害の発生が想定される河川
- 河道掘削により流下能力を向上させるほか、河床低下防止対策(帯工)を実施中



のろがわ

野呂川 (山形市)

- 平成14年や令和2年など、豪雨の度に浸水被害が発生
- 河道拡幅により流下能力の向上を図っている
- 現在市道橋架替等を実施中



つきぬのがわ

月布川 (大江町貫見)

- 平成25年7月豪雨により、浸水被害が発生
- 河道掘削等により流下能力の向上を図った
- 令和4年度完成



しろみずがわ

白水川 (東根市)

- 令和2年7月豪雨により最上川のバックウォーターで堤防決壊し、浸水被害が発生
- 令和4年度末に堤防復旧・嵩上げが完成



❖ 最上地域

かくまざわがわ

角間沢川 (戸沢村)

- 平成30年8月、2度の浸水被害が発生
- 国土交通省、戸沢村と連携し、輪中堤を整備
- 令和4年6月輪中堤完成



↑被災状況(H30.8月)



■出水期に向け合同巡視

- 国土交通省・県・村が角間沢川輪中堤で合同巡視を実施(R5.5.29)
- 地域を守る治水施設として、今後も国・県・村が連携しながら対応していくことを確認



さすのがわ

指首野川 (新庄市)

- 沿川に住宅地が多く、浸水被害の発生が想定される河川
- 河道拡幅により流下能力を向上
- JR橋及び市道橋架替工事等を実施中



もがみおくがわ

最上小国川 (最上町志茂)

- 平成30年に沿川の国道47号が冠水し通行止となるなど、浸水被害が発生
- 流下能力が不足している箇所築堤等を実施中



❖ 置賜地域

よしのがわ

吉野川 (南陽市)

- 平成25年、26年、大規模な浸水被害が発生
- 河道掘削・築堤等により流下能力の向上を図る
- 橋梁架替え(5橋)完了
- 現在、大橋周辺の河道掘削、樋門工事等を実施中



はくろがわ

羽黒川 (米沢市)

- 平成元年、浸水被害が発生
- 河道拡幅、河道掘削、築堤等により流下能力の向上を図る
- 現在、河道掘削・低水護岸工、帯工を実施中



こしらがわ

はぎゅうがわ

小白川・萩生川 (飯豊町)

- 令和4年8月大雨により、大規模な浸水被害が発生
- 再度災害を防止するため、流下断面の向上を図る「改良復旧」を実施
- 小白川は令和7年度、萩生川は令和6年度完了を目標
- 一部区間の工事発注済



小白川被災状況(令和4年8月)



萩生川被災状況(令和4年8月)



❖ 庄内地域

しょうりゅうじがわ

青竜寺川 (鶴岡市・三川町)

- 令和2年7月など、度々浸水被害が発生
- 堤防高上げ、河道掘削により流下能力の向上を図る
- 現在、堤防高上げ工事等を実施中
- 令和5年度完了予定



ゆじりがわ

湯尻川 (鶴岡市)

- 平成19年、25年など、度々浸水被害が発生
- 河道掘削等により流下能力の向上を図る
- 現在、上流部の県道橋架替工事を実施中



きょうでんがわ

京田川 (鶴岡市)

- 令和2年7月豪雨により浸水被害が発生
- 河道掘削及び築堤により流下能力の向上を図る
- 現在、護岸工を実施中
- 令和5年度完了予定



うつざわがわ

宇津野沢川 (庄内町)

- 平成16年など、度々浸水被害が発生
- 河道拡幅等により流下能力の向上を図る
- 現在、河道掘削、護岸工等を実施中



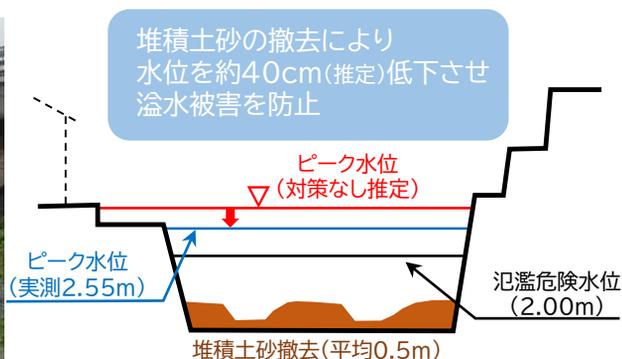
- ▶ 平成24年度から、堆積土砂や支障木の撤去を実施し、令和2年7月豪雨や令和4年8月大雨でも氾濫を防ぐ効果を発揮



R2. 2対策

R2. 7豪雨

堆積土砂や支障木の撤去による治水効果事例 前川(上山市北町)令和2年7月豪雨



- ▶ 近年の豪雨による堆積の進行・再堆積
⇒再堆積を防ぐ**床止工の設置**
- ▶ 令和4年度から、**緊急浚渫推進事業債・緊急自然災害防止対策事業債**を活用、令和7年度までの4か年で計画的・集中的な対策を実施【延長約230km、R4:15億円 R5:12億円】



土砂流出による再堆積を防ぐための床止工設置事例 吉野川(南陽市)

取組みの柱(2)「被害対象を減少させる」(ソフト対策)

- 災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成および居住誘導

- ▶ 立地適正化計画で定める誘導区域(居住・都市機能)について、災害リスクを考慮した区域設定をすることで、適切な防災まちづくりを推進

取組みの柱(3)「被害の軽減、早期復旧・復興」(ソフト対策)

- ① 水害リスク情報空白域の解消(中小河川の洪水浸水想定区域の指定)

- ▶ これまで、洪水浸水想定区域を指定していない**中小河川において、近年氾濫による浸水被害が全国各地で発生**
- ▶ 政府は令和3年に水防法を改正し、洪水浸水想定区域の指定及びハザードマップの作成・公表の対象を**全ての一級・二級河川に拡大**

❖ 県の方針

洪水浸水想定区域図
【河川管理者(国・県)が作成】
河川が氾濫したときに浸水する範囲やその深さ等を示した図面

提供

洪水ハザードマップ
【市町村が作成】
洪水浸水想定区域図に避難場所や避難経路等、避難に必要な情報を示した図面

- ▶ これまでに指定した河川(70河川)以外の**484河川において、令和7年度までの指定完了を目指す**

県管理河川数	554
指定済河川数	70
今後指定河川数	484

本県の指定対象河川数

- ▶ 引き続き、市町村が洪水ハザードマップを速やかに見直しすることが出来るよう、**技術的な助言等の支援**に取り組む

❖ スケジュール

	R4	R5	R6	R7	R8	実施主体
洪水浸水想定区域の指定	—————▶					県
洪水ハザードマップ作成・更新			—————▶			市町村

② 雨量・河川水位情報の発信

- ▶ 雨量情報(国観測を含む) 91箇所
 - ▶ 県管理河川の水位情報 188箇所
 - ▶ 県管理河川の画像情報 96箇所
- ⇒「川の防災情報」でスマホでも閲覧可能



令和4年8月大雨を踏まえ小白川に設置した水位計とカメラ

「川の防災情報」
HPはこちら↓



③ マイ・タイムラインの普及促進

- ▶ 河川水位上昇時に、住民一人ひとりが自ら取るべき防災行動を時系列で整理しておく「マイ・タイムライン」の作成を推進
- ▶ 普及に向け、国土交通省、県、市町村が連携した取組みを実施



←検討ツール
「逃げキッド」

大石田小学校4年生が「マイ・タイムライン」づくりにチャレンジ

3 今後重点的に進める取組み

いしこざわがわ

●特定都市河川制度 石子沢川(中山町・山辺町)

- ▶ 石子沢川は、流域の市街化が進展し、家屋連担により河道拡幅が困難な河川
- ▶ 令和2年7月豪雨や令和4年8月大雨で浸水被害が発生



昭和63年 (1988)



令和元年 (2019)

中山町あおば地区の開発



令和2年7月豪雨(中山町あおば地区)

●指定に向けた取組み状況

- ▶ 令和4年度まで、国、県、町共同で勉強会を開催
- ▶ 今年度、指定に向けて流域水害対策検討会での議論を開始

●特定都市河川に指定されると

【雨水貯留浸透施設整備】
国の補助制度を活用し、
河川管理者のみならず、
町や民間も整備



公園に貯水池を整備した事例

貯水池

【雨水浸透阻害行為】
1,000m²以上の開発
には雨水の浸透・貯留
対策を義務付け



雨水浸透樹

透水性舗装

流域における実効性のある治水対策を図ることが出来る

流域の治水安全度の向上